

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号

65

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	特別支援教育の推進					
予算科目	10 款 1 項 3 目					
予算事業名	特別支援教育の推進					
総合計画での位置づけ	互いに認め合うまちをつくる					
担当課	教育委員会	担当課長	久芳 義則			
事業担当者	今村 春美		一次評価者	大嶋 昌広		
事業の性格	自治事務					
法令根拠等						
事業の対象	久山町立幼稚園、小学校、中学校					
事業の目的	支援を必要とする子が増える中、支援が必要な子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じて、教育内容や方法を専門家の助言を基に、教育体制を整える。					
実施期間	開始年度	平成 26 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	幼稚園:パート補助員を7名配置。 小学校:両小学校に特別支援加配補助員を必要に応じて配置(久原1名、山田2名) 中学校:通級指導教室担当教員を1名配置。 全体として、臨床心理士による巡回相談を行い、支援が必要な子どもについての洗い出し、個別相談等を行った。					
目的達成の指標	特別支援教育相談員の相談件数					
	区分年度	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32年度
	目標	件	300	300	300	
	実績	件	305			
指標設定の考え方	個別対応を必要とする子どもの掘り起こしが進めば、相談件数は増えてくる。					
事業遂行時懸案事項等	保護者との面談などができていない状況にあった。学校任せになっていたが、教育支援委員会等で、保護者との面談に教育委員会もかかわるべきとの意見があった。					
事業実施時懸案事項対応等	教育支援委員会で検討した子の中で、新規、措置変更者に対しては、臨床心理士同席の上、保護者面談を行い、丁寧な相談体制をめざした。30年度はすべて教育委員会ならびにコーディネータで行った。人数が多く、大変ではあったが、保護者のニーズもわかり、対象者の状況、家庭の状況なども把握でき、実施してよかったと思う。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,340 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算	32 年度予算
事務量	① 人工数	0.20	0.20	0.20
	② 人件費単価	7,381	7,350	7,196
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	1,476	1,470	1,439
事業費	直接事業費	8,884	12,775	10,060
	人件費	1,476	1,470	1,439
	合計	10,360	14,245	11,499
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金	2,129	2,239	1,976
	地方債			
	その他			
	一般財源	8,231	12,006	9,523
合計	10,360	14,245	11,499	11,499

事業費計画

(千円)

区分/年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度
目標	8,884	12,775	10,060	10,060	10,060
実績	8,503	10,060			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
特別支援教育相談員対応件数	件		221	300	300
		299	218		
教育支援委員会検討人数	人		65	65	65
		62	12		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,062 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度決算	30 年度予算	30 年度決算	
事務量	① 人工数	0.20	0.20	0.20
	② 人件費単価	7,129	7,350	7,187
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	1,425	1,470	1,437
事業費	直接事業費	8,503	12,775	10,060
	人件費	1,425	1,470	1,437
	合計	9,928	14,245	11,497
財源内訳	国庫支出金		0	0
	県支出金	1,734	2,239	1,976
	地方債		0	
	その他		0	
	一般財源	8,194	12,006	9,521
合計	9,928	14,245	11,497	

実施備忘録

--

自己評価	評価者	今村 春美
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	4	B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

支援が必要な児童・生徒が増加する中で、支援員の存在は大きく、現場の教諭への負担減や、スムーズなクラス運営に寄与している。
 相談員の専門的知識を活用し、支援員の適切な配置を行う。継続的な支援体制を整備していく。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

支援が必要な子どもならびに保護者への対応をどう進めていくかが課題。特別支援学級対象児童増加で、教室不足も発生。通級指導教室対象児は一人で受け持つ人数を超えてしまう。退級なども視野に入れ、対象児の見極めが必要である。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	大嶋 昌広
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

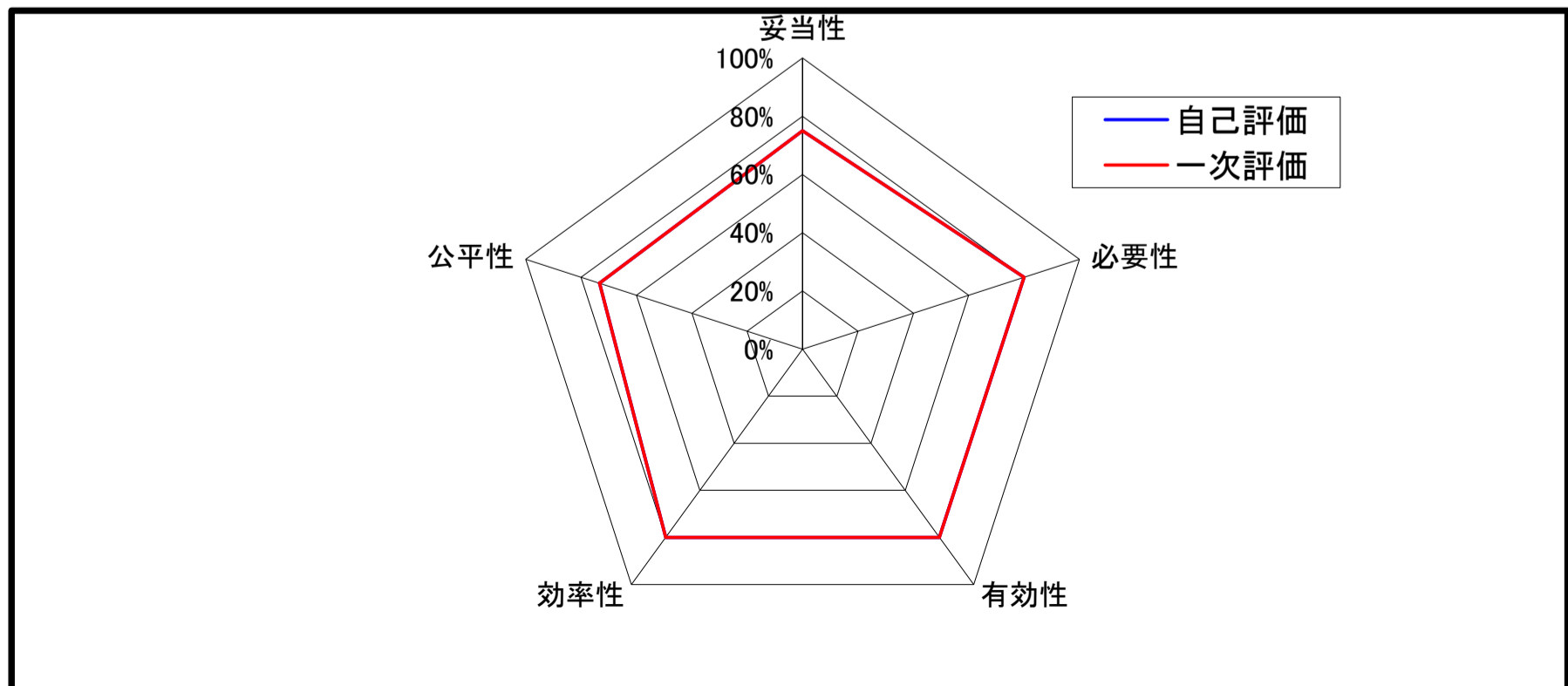
項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？		
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	B
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じて、きめ細かい教育内容や方法と支援体制を充実させるため、多くの相談員を配置し、対応を行っている。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	久芳 義則
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

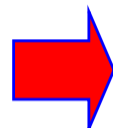
一人ひとりのニーズに対応し、きめ細かい支援を実施しており今後も充実した支援が行える体制を継続していく。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

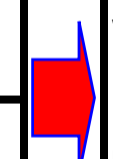
一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--